

[投資家 × IR サイト] 企業の情報を正しく伝えるための法則

IR サイトには、財務諸表を PDF ファイルで用意しておけばひとまず大丈夫だろうと考えている担当者は多いのではないのでしょうか。台頭する個人投資家を企業の「ファン」にするためには、企業の状態を正しく伝える IR サイトが必要です。いかにして自社のことを理解してもらうかが成功のカギになります。

背景

企業が株式市場で資金調達をする比重が高まったことで、インターネットトレーダーも重要な位置付けになった。IR 活動の対象が「個人投資家」にまで広がり、企業の IR 活動の考え方に影響を与えている。

■ 個人投資家＝企業の「ファン」

専門家ではない個人投資家の登場によって、投資や金融に関する専門機関のみではなく企業の Web サイトでも IR 情報を伝える必要性が出てきた。

課題

- ・ 旧来の投資専門家向けに IR 系の資料が PDF データで用意されているだけの企業が多い
- ・ 個人投資家にとっては、アニュアルレポートだけで「その企業がどうい状態にあるか」を読み取ることは困難

サイト構築のポイント

■ とにかくユーザーに自社のことを理解してもらう

- ・ Web サイトが数あるチャネルの 1 つということを意識しつつ、Web サイトで実現 できること (=詳細でわかりやすい情報提供)を徹底する
- ・ その企業がどんなことをしている会社なのか、自社に対する理解を深めてもらう

コンテンツの具体例

具体例を考えてみましょう

- ・ 投資や経営に関する知識がなくても理解してもらう
- ・ データだけでなく想いや志を理解してもらう
- ・ 企業の存在意義や貢献度について理解してもらう
- ・ 新鮮な情報を提供し理解してもらう
- ・ 日本語以外の言語ユーザーにも理解してもらう

・案 1	
・案 2	

リスクと解決策

■ リスク

総会や印刷物などの情報と Web サイトの情報に乖離が生まれる。



■ 解決策

- ・ IR 部署との連携が不可欠
- 自社の IR 活動の在り方を検証し、Web サイトが何を担うべきかを定めて一歩一歩進めていく。



■ リスク

運用負荷が高まり、社内の協力が得られなくなる。



■ 解決策

- ・ 更新・管理について先を見据えた設計を
- 定期的な更新(特に年度の切り替わり)が効率的に行えるよう Web サイトの構造を設計する。アーカイブへのライブラリ化を見据え、無理なく運用できる管理体制を前提に考える。

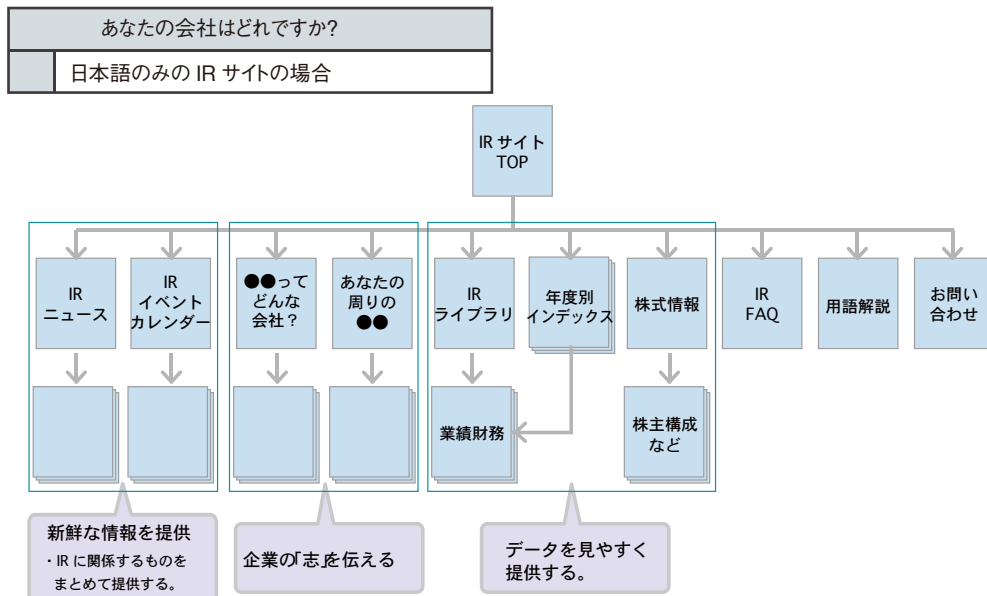


サイト要素

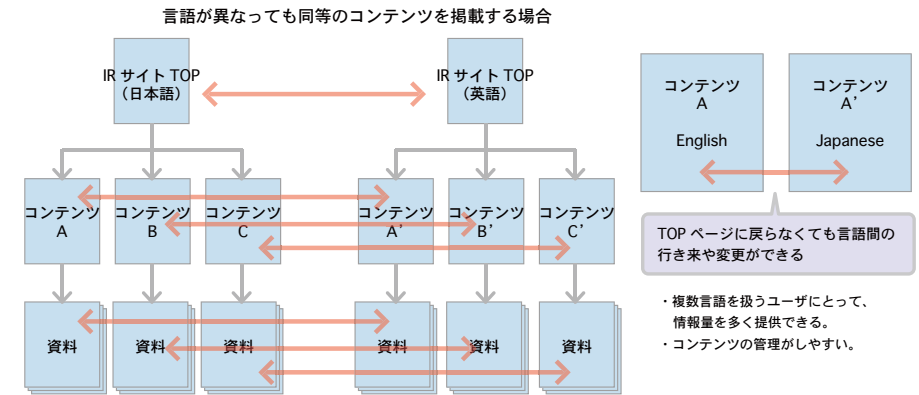
要素に漏れないかチェックしましょう	
IR ニュース	IR に関するものをまとめて提供 (新鮮な情報を提供)
IR イベントカレンダー	IR ニュースを日付ごとに探しやすい機能として提供
企業情報	経営ビジョンや戦略、経営計画、CSR 計画、社長メッセージなど
IR ライブラリ	決算情報や業績情報、財務情報など
年度別インデックス	年度別の情報や資料請求受付など
株式情報	配当金や株式手続き、株主総会、社債に関する情報など
FAQ	IR 情報に関するよくある質問とその答
用語解説	専門用語や馴染みのない用語に対する解説
お問い合わせ	株主や投資家専用の問い合わせ先を用意
案 1	
案 2	



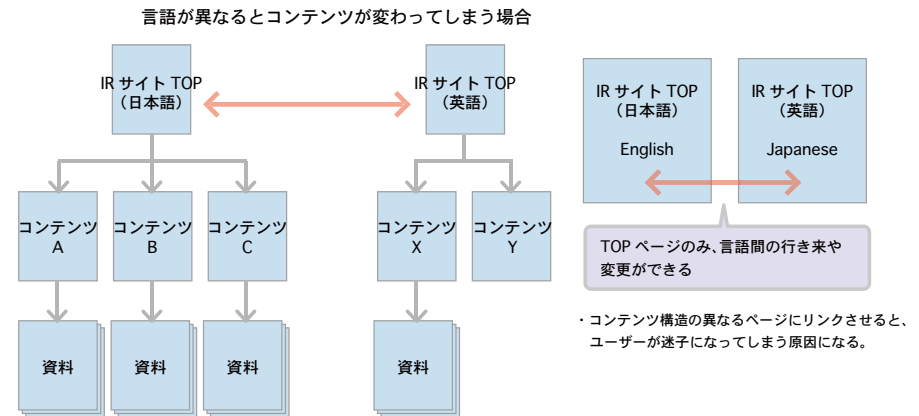
サイト構造図



多言語を扱う(多言語で同等のコンテンツを掲載している)IR サイトの場合



多言語を扱う(言語が異なるとコンテンツが変わる)IR サイトの場合



成果の判定指標

仮説を立て、目標をしっかりと設定しましょう

- ・社外アワード
→ 第三者による IR サイトや IR 活動全体に対する評価を得る。
- ・投資家満足度
→ アンケート調査を実施し、リニューアルの前後または定期的な数値の変化を評価する。
- ・業務の効率化
→ Web サイトの情報提供がどれぐらい効率化できているか、数値を測定。